

令和3年度事業報告

社会福祉法人 あゆみ園

本部事業報告

はじめに

令和3年度のあゆみ園の運営につきましては、昨年度と同様に新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、感染予防を目的に納涼祭などの行事は事業所単位で利用者と職員のみで開催し、日帰旅行や一泊旅行なども中止しました。また、保護者会と相談し毎月の保護者会も中止し、保護者の面会も制限させていただきました。利用者にとっては、何かと制限の多い一年となりました。

そのような中、従前からの課題でありました共同生活援助事業みどりの3棟(みどり棟・あお棟・あか棟)の大規模修繕工事を行いました。利用者の重度・高齢化対策として、玄関前階段の滑り止めや手すり設置、風呂場の改修、配膳台の入替などを行いました。また、生活介護事業所すてっぷの送迎用バスが古くなり空調の故障が続いたことから、バスを入れ替えました。更に栃木市の補助を受け、短期事業所あゆみの各部屋に空気清浄機を設置しました。

1、管理運営体制

令和3年度は評議員会を2回、理事会を6回、監事監査を1回、評議員選任解任委員会を1回開催しました。また、理事会前に経営会議を開催し、理事会や評議員会に提案する議案について検討しました。

評議員選任解任委員会	4月21日(水)	評議員の選任
監事監査	5月28日(金)	令和2年度決算監査
第1回理事会	6月3日(木)	令和2年度決算及び事業報告他
定時評議員会	6月18日(金)	令和2年度決算及び事業報告他
第2回理事会	6月18日(金)	理事長の選出
第3回理事会	9月16日(水)	法人理念の見直し
第4回理事会	11月25日(木)	上半期収支決算報告、臨時評議員会の開催他
臨時評議員会	12月2日(木)	法人理念の制定他
第5回理事会	2月17日(木)	育児介護休業等規則の改正他
第6回理事会	3月25日(金)	令和4年度予算及び事業計画他

2、人材育成

人事考課制度は、昇給や異動等の人事・給与制度の公平性・透明性確保はもとより、上司が部下との面談を通じ、職員に期待することなどを一人々に伝えながら人材育成を図り、更には個々の職員の意見を職場環境に反映することを重点に実施しています。まだ、試行的な面もあり完全実施には至っていませんが、職員間にも制度の趣旨が徐々に浸透しています。

また、令和3年度はコロナ禍という特別事情もあり、職員の支援力向上のため内部研修を積極的に展開しました。外部研修は、新型コロナの影響で多くの研修が中止となりましたが、関係団体が主催するWeb研修などを活用し人材育成に努めました。

3、公益活動

社会福祉法人改革に伴い社会福祉法人は、地域における公益的な取組を実施することが求められています。あゆみ園では、栃木県内の社会福祉法人で構成される地域における公益的な取組推進協議会が主催する「いちごハートネット事業」に参加し、地域における様々な福祉課題に対する相談窓口を設置しています。また、栃木市が行っている「くらしだいじネット事業」にも参加し、障害者等の重度・高齢化、親なき後等に備えた緊急支援体制の一端を担っています。災害時の活動としては、大規模災害時における広域支援を行う栃木県災害福祉支援チームに職員2名を登録し、県の要請に応じて職員を派遣できる体制を整えています。

保健事業報告

はじめに

新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて、利用者・職員の健康管理や感染の予防に努めました。一時帰省、救急法講習会は中止し、予防接種や検診は感染対策をして実施することができました。8月に、あゆみ短期入所にて新型コロナウイルスの感染がありましたが、感染が拡大することなく、収束しています。

また、ワクチン接種については利用者・家族・職員等へ説明し、法人全体では約9割の方が2回目の接種を終了しています。グループホームの利用者については、3月までに3回目がすべて終了しました。ワクチンによる副反応については、発熱、倦怠感、接種部位の疼痛など、個人差はありましたが数日で回復しています。

- ・ 嘱託医による巡回相談 生活習慣病健診の実施
- ・ ホームみどり・あゆみ・すてっぷ・日中・短期利用者の薬の準備と確認
- ・ 発熱・怪我等による緊急通院や医療的処置などの看護業務
- ・ 各種申請や相談支援専門員との連絡相談
- ・ 利用者への支援

健康管理について（結果）

時 期	項 目	対 象			合 計 備 考
		グループ ホーム	日中活動 事業所	職 員	
毎月	体重・血圧測定		42名		42名
	嘱託医巡回相談		42名		42名
6月	生活習慣病健診			10名	35歳未満
7月	救急法講習			中止	資料配布
8月	コロナワクチン接種	27名			27名
10/14	生活習慣病健診	27名			27名
10/14	結核検診		29名		29名
10月～11月	生活習慣病健診			50名	35歳以上
11/18	インフルエンザ予防接種	27名	27名	52名	106名
3月	コロナワクチン接種	26名			26名
毎日	体温測定				
5.8.12月	帰省時健康チェック	中止			

その他

※通所利用者、職員のコロナワクチンについては、かかりつけ医と相談のうえ個別に実施

感染に対する予防・マニュアルの確認、日々の体調やADLなど身体的な機能の変化を観察し、家族も含め嘱託医・主治医・各専門員との連携を取りながら今後も対応していきます。

調理事業報告

はじめに

令和3年度の調理事業については、次のとおりです。

- ① あゆみ 昼食を提供(食堂にて)
- ② すてっぷ 昼食を提供(料理をすてっぷに配達し支援員と配膳、食器洗浄)
- ③ めぐみ 昼食を提供(料理をめぐみに配達し支援員と配膳、配食器具洗浄)
- ④ ホームみどり 朝夕食、休日昼食・3時の手作りおやつを提供
- ⑤ 季節に応じた特別メニューを提供
- ⑥ 短期入所、日中一時 朝昼夕食を提供(食堂にて)
- ⑦ 職員 朝夕食を提供(当直勤務の職員のみ)

献立は業務用献立配達業者「タイヘイ株式会社」に部分委託

< 概ね達成できたもの >

1、誕生月の利用者に嗜好調査を行い、希望メニューを月に2回提供することで、利用者の嗜好に添えるものを提供することができました。

*栄養面での偏りを考慮し、カルシウム・タンパク質・鉄分・ビタミン類を補えるようメニューに組み入れ提供しました。

2、栄養改善について

(1) ホームみどり上記1*について栄養価月報を作成し栄養の改善に努めました。

(2) 朝食のみあゆみ献立で提供し、栄養価月報を見直し改善に努めました。

(3) 給食施設における栄養、給食管理等の状況把握の為に、給食実施報告書を年2回(5月・11月) 県南健康福祉センターに提出し、給食喫食者の栄養の改善及び健康の保持増進を図り、栄養管理に努めました。

3、衛生管理について

(1) 害虫駆除 5月、11月に実施

(2) 検便検査を毎月実施

(3) 自主衛生管理(HACCP)に沿った衛生管理の徹底(給食日誌・個人衛生チェック表・食品衛生チェックリスト・検食簿・環境衛生)に努めました。

(4) 原材料受け入れ時の交差、二次汚染防止に努めました。

(5) 新型コロナウイルス感染予防対策として、食堂、厨房、調理事務所の消毒を随時実施

4、災害時非常食対応 各事業所に提供できる体制を整えました。

5、ホームみどりの休日の午後3時に手作りおやつを提供しました。

指定生活介護事業所あゆみ事業報告

はじめに

令和3年度は、家族の意向や体調不良により利用者の退所がありましたが、利用日数を増やしていただいた利用者もおり、1年を通し定員以上の利用者数を確保することができました。また、新型コロナウイルス感染症予防のため、一時的な事業休止や自粛を止むを得ずお願いすることもあり、利用者減少に繋がってしまいました。

利用や見学の希望者はいましたが、感染症予防の観点から十分な対応ができず、施設利用には至りませんでした。

令和3年度利用実績

定員	20名
契約利用者	21～23名（内 週3日利用者 3名、週1日利用者 1名）
月別契約利用者	23名（4・5・6・7・8・9・10・11月） 21名（12・1・2・3月）

（利用状況）

単位：日、人

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
営業日数	22	21	22	22	22	22	22	22	22	22	20	23	262
1日平均利用者数	19.4	19.3	19.8	19.5	17.1	18.2	19.6	18.4	18.1	17.9	17.0	17.6	18.5

（事業実施状況）

事業	実施日	参加人数	事業	実施日	参加人数
七夕会	7月7日	全員	クリスマス会	12月23日	全員
あゆみ夏まつり	8月24日	全員	あゆみ新年会	1月27日	全員
あゆみ秋まつり	9月21日	全員			
あゆみ運動 DAY	11月11日	全員	節分会	2月3日	全員

1、概ね達成できたもの

- ・散歩の機会の提供と共に、新たな散歩ルートを確保し気分転換を図るなど、個々の体力や情緒に合わせて提供することができました。
- ・作業活動は生産性だけを重視するのではなく、利用者の気持ちに寄り添い配慮しながら、活動に参加することができました。
- ・検温、マスクの着用、施設内及び送迎車の消毒、定期的な換気、飛沫防止ボードの設置など感染症予防を徹底し、安心してご利用いただける環境を整備することができました。しかし、感染が発生した場合の対応に関しては、課題もありました。

2、達成できなかったこと

- ・感染症予防の面から、外出等の社会参加やボランティアの要請、施設体験実習生の受け入れなどは、積極的に行うことができませんでした。
- ・家族の参観や懇親会など家族との関係構築の場は設けられず、電話での対応となりました。

指定生活介護事業所すてっぷ事業報告

はじめに

令和3年度は、定員20名・利用契約者22名でのスタートとなりました。4月から新規の利用者1名が利用開始しましたが、令和4年1月末には1名が退所しました。令和3年度末の利用契約者数は、21名となっています。

令和3年度利用実績

定 員 20名 利用契約者 22名（4月～1月）
21名（2月～3月）

（利用状況）

単位：日、人

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
営業日数	22	21	22	22	22	22	22	22	22	22	20	23	262
1日平均利用者数	21.4	21.6	21.5	21.6	21.6	21.4	21.5	21.6	20.9	20.1	19.3	20.4	21.1

（事業実施状況）

事 業	実施日	対象者	事 業	実施日	対象者
納涼祭	9月22日	全 員	運動会	10月16日	全 員
クリスマス会	12月21日	全 員	新年会	1月11日	全 員
誕生会	毎 月	全 員			

1、概ね達成できたもの

＜日常生活支援＞

- ・運動公園などでの散歩や雨天時の室内運動などを実施して、健康面、身体機能の維持に努めました。

＜作業＞

- ・個々の能力を考慮し利用者にあった作業内容、工程の提供を行うことができました。

＜余暇活動・社会参加＞

- ・栃障協による永野川公園清掃への参加や、施設近隣のゴミ拾いなどの社会貢献を通じて、利用者一人ひとりが地域で生活している事を感じられるよう活動を実施しました。
- ・余暇活動やクラブ活動を通じ、皆で何かに取り組む事や笑顔になる事で、利用者の関心が高まる企画を考えました。

＜コロナウイルス感染症対策＞

- ・感染症予防の意識を持ち行動しました。利用者さまの手洗い、手指消毒、マスクの着用への介助、促しがスムーズに出来るようになりました。
- ・施設内設備や車両当の消毒を徹底、職員間の密を避けるようにしてきました。
- ・ワクチン接種状況 1回目8月、2回目9月、3回目3月に実施。

指定就労継続支援B型事業所めぐみ事業報告

はじめに

令和3年度は、利用者契約者23名でスタートしました。その後、6月に1名が退所、令和4年1月には1名の新規利用があり、令和4年3月31日現在、利用者契約者23名となりました。

グループホームぼくちより3名・にゃんきちより2名、ホームみどりより4名、自宅より14名が、通所利用されています。

令和3年度利用実績

定員20名 利用者23名

(利用状況)

単位：日、人

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
営業日数	22	21	22	22	22	22	22	22	22	22	20	23	262
平均1日利用者数	20.7	19.5	20.3	18.8	16.9	18.6	20.0	20.8	20.2	19.5	19.0	20.2	19.5

新型コロナウイルス対応に伴い、4月から6月まで（対象者1名）が、在宅支援サービスを実施致しました。

(事業実施状況)

事業	実施日	参加者	事業	実施日	参加者
納涼祭	8月21日	15名	運動会	11月23日	20名
クリスマス会	12月20日	22名	新年会	1月10日	18名

利用者と職員のみで実施しました。また、七夕会（7月7日）、お月見会（10月18日）、ひなまつり会（3月2日）なども実施しました。

【作業活動について】

令和3年度年間工賃支給額は2,591,500円で、1か月の平均工賃額は10,044円でした。令和2年度の月の平均工賃額は9,377円でしたので、今年度は前年比107.5%となり平均工賃額は増額しています。

一昨年度からの新型コロナウイルス感染症予防及び緊急事態宣言等により、作業発注先（主に自動車関連）の稼働日と生産量が未だ定着していない影響もあり、過去3年前までの受注量に届いていない状況です。そのような中、8月より石川レコードのDVD・レコードの清掃作業、2月より（株）山崎工業の自動車のラジエータ部品のパッキン貼り作業、3月より（株）アイシイエスのろう材加工前のリング付け作業と新たな作業も受注しました。

概ね達成できたこと

- ・契約利用者を増やすために、市内外の特別支援学校の実習生の受け入れや、見学者の受け入れを感染予防をしながら積極的に実施し、現在の利用に繋がりました。
- ・事業所単位の行事・イベントは、感染予防対策をしながら実施することができました。
- ・災害時避難確保計画に基づき、引き渡し訓練、避難訓練を実施しました。

主な取引先及び年間収益一覧

取引先、作業名	年間収益 (円)	備考・作業内容など	前年比 (%)
中央パッケージ	1,117,179	ゼブラ製品のパッケージ詰め、箱詰め	123.5%
光栄電機	72,735	断熱シール貼り、コードのカバー付けなど	56.5%
トップ工業	100,850	金属のカット折り作業（車のマフラーに使用）	96.7%
関口商事	648,489	資源回収、毎月第3火水木曜は全体で地域回り、 新聞、段ボール、アルミ缶、雑誌	198.1%
アータマ	104,294	スポットバリ取り作業	175.8%
松下通商	159,844	自動車部品（スポンジの枠外し）	81.8%
栃木法人会	101,990	定期発行物（法人便り）の袋詰め、発送	94.3%
農産物販売	100,800	ブルーベリー、黒大豆等の栽培	111.3%
自主製品	17,700	洋裁（手作りマスク等）	15.0%
栃木清掃サービス	68,590	資源回収、段ボール、雑誌、アルミ缶等	103.1%
籠谷いちご園	31,350	いちごの箱折り作業	117.4%
尾花いちご園	33,630	いちごの箱折り作業	110.4%

※主な取引先および作業のみ記載

指定短期入所事業所あゆみ事業報告

はじめに

令和3年度は、市内外含め30名以上の方にご利用していただくことができました。また、コロナ禍ではありましたが、感染状況を見ながら感染対策をより徹底することで、施設見学やご利用に繋げることができました。突発的な受け入れなども調整をして、可能な限りご要望に沿ったサービスの提供をすることができました。施設内での感染や職員体制により、一定期間、事業休止をせざるを得ない時期もありました。

1、利用状況

延べ利用者数 1,302人 一日平均利用者数 2,80人

(令和2年度 延利用者数1,513人、一日平均利用者数4,14人)

(利用状況)

単位：日、人

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
営業日数	22	21	22	22	15	25	31	30	28	28	28	31
延利用者数	99	109	105	110	78	93	123	128	128	107	99	123
1日平均利用者数	2.76	3.16	3.12	3.04	3.20	2.48	2.60	2.72	2.84	2.64	2.44	2.64

2、具体的な活動内容

- ・利用者及びご家族の利用目的を聴きとり、可能な限り希望に沿ったサービスを提供しました。
- ・4月から8月は職員配置の都合で土日の営業が出来ませんでした。また、8月は、新型コロナウイルスの感染により、一定期間やむを得ず事業を休止しました。しかし、適切な対応により施設内クラスターになることは、ありませんでした。
- ・ご家族の不調などの緊急時に優先的に利用していただけるよう調整しました。
- ・快適に過ごしていただけるよう、定期的に居室の清掃や季節に応じた寝具の提供を行いました。
- ・栃木市くらしだいじネット（緊急短期入所）の受け入れに協力しました。
- ・感染対策として、日々の清掃に加え施設内の消毒を徹底しました。利用者及び職員の検温を1日2回行うことで不調や変化に直ぐに気が付けるようにしました。食事や活動の場所に、飛沫防止ボードの設置をすることで安心して過ごせるように整備しました。

3、今後の課題と目標

感染対策を徹底し、安心して過ごせる環境でサービスの提供をすることで、365日の営業を目指します。また、万が一感染者が出た場合は、BCPに基づき適切に対応し感染を最小限に留められるようにします。現在、市外の方の利用を見合わせている状況です。法人としての明確な指針があることで、安心した受け入れに繋がると思われます。支援学校の学生をお持ちの保護者さまより、短期入所ご利用の希望と、学校までの送迎の希望が出ています。利用者獲得のために、送迎サービスの調整が今後の課題と思われます。

指定居宅介護等事業所さんぽ道事業報告

はじめに

令和3年度は、在宅の利用者は月により増減はありましたが、比較的利用の多いホームみどりの利用を中心に、おおむね昨年度と同程度のサービス提供でした。

職員（ヘルパー）に関しては、登録ヘルパー4名、サービス提供責任者2名の計6名で運営しました。職員に余裕がありませんので、現行の利用者数の維持に努め利用者数の増加までには至りませんでした。

1、利用者へのサービス提供について

- ・相談支援専門員からの情報や、関係事業所との連携を図りながら、利用者のニーズに即したサービスの提供に努めました。コロナ禍による利用のキャンセルやヘルパーの人員の都合で全ての要望に即したサービス提供が出来ないこともありましたが、関係機関や保護者との連携を図りながら出来る範囲でサービス提供を行いました。
- ・障害特性の理解やそれぞれの利用者の性格などヘルパー間、他事業所間との情報共有を行いながら、サービス提供を行いました。

2、ヘルパー資質向上について

- ・在籍中のヘルパーにおいては、事業所が行う福祉サービス提供に必要な資格研修を随時受講し業務に取り組みました。今後も必要な資格取得を進め、幅広い利用者のニーズに対応したいと考えています。
- ・コロナ禍のため、事業所内での勉強会や研修などへの参加が思うように行えませんでした。必要な情報共有のために、資料の配布や各自で勉強できるよう情報を提供し、資質向上に努めました。

3、事業展開について

- ・現在は6名のヘルパーで事業運営しています。コロナ禍による利用控えなどもありましたが、徐々に利用再開する方もいますので、今後はサービス提供を増やすことを検討したいと思えます。
- ・新規の利用者については、新型コロナウイルス感染状況などを見ながら対応したいと思えます。

指定共同生活援助（介護サービス包括型）事業所ホームみどり事業報告

はじめに

今年度は、27名の利用者がホームみどりを利用しました。そのうち2名が体調不良のため、入院生活を送りましたが、1名は無事に退院されホームでの生活を再開することが出来ました。もう1名は療養病棟利用のため退所となりました。利用者の重度・高齢化に伴う体調管理はもちろんですが、身体的な介護度の増加から転倒や怪我への配慮も必要になってくると思われま

すが、身体的な介護度の増加から転倒や怪我への配慮も必要になってくると思われま

現在、26名の利用となっていますが、次年度は新型コロナウイルス感染症の感染対策を実施しながら、新規利用の募集も検討したいと思

(利用状況) 定員30名 契約利用者27名

単位：日、人

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
営業日	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
延べ利用者数	810	837	810	837	837	810	837	810	833	832	709	806	9,744
1日平均利用者数	27	27	27	27	27	27	27	27	26.8	26.8	25.3	26	26.6

1、日常生活支援について

食事、排泄など利用者の状況に応じて必要な支援を適宜提供してきました。入浴に関しては人員不足等により、以前のような毎日の入浴支援の提供が困難になってしまいました。

2、健康面について

毎日の検温、体調観察などを行い、日中活動事業所とも協力することで利用者の健康管理を行ってきました。定期通院や体調不良時には看護師、居宅介護事業所とも連携を図り、通院・日中の対応などを行ってきました。

日常的に手指の消毒や手洗いなどを励行し、風邪などの予防に努めました。利用者の高齢化・身体機能の低下により、転倒等の事故の発生がありました。

3、余暇活動、外出支援、社会参加について

居宅介護事業所と連携し、利用者の状況や希望に応じた移動支援の内容を提供出来るように努めました。

4、日中事業所との連携について

日中活動事業所として利用している生活介護事業所すてっぷや就労系事業所めぐみと常に連携を取り、相互に協力しながら利用者の生活支援を行うことが出来ました。

5、防災、避難訓練について

あゆみ園の防災規定に基づき、避難、通報訓練を実施してきました。しかし、天候によっては避難訓練を実施出来ず、通報訓練のみになることもありました。

指定共同生活援助（介護サービス包括型）事業所ホームおれっち事業報告

はじめに

ホームおれっちは、ぼくんち6名・にゃんきち6名の計12名の定員で、年度当初（令和3年4月）は定員数と同じ12名が利用していましたが、令和4年3月ににゃんきちの利用者1名が退所したため、年度末（令和4年3月）では、ぼくんち6名・にゃんきち5名の11名の利用となりました。

利用者は、それぞれ日中活動事業所や一般企業へ通いながら、自分たちの生活スタイルを確立し地域での生活を過ごしています。

1、利用実績

<ホームにゃんきち>定員 女性6名 （3月17日～5名） 単位：日、人

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
営業日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31
1日平均利用者数	5.5	5.0	5.5	5.4	4.9	4.6	4.6	4.9	5.0	5.0	5.0	4.5

<ホームぼくんち>定員 男性6名 単位：日、人

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
営業日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31
1日平均利用者数	4.9	4.4	4.9	4.9	4.3	4.3	5.3	5.2	4.9	4.6	5.1	4.9

2、概ね達成できたもの

- ・「自分で行うこと」を基本に支援し、衣食住の様々な場面において個々の課題に応じた支援をしました。また、健康的なバランスのとれた食事の提供を行いました。
- ・健康面については通院した様子を各関係機関、日中活動事業所と連携を取り、本人の状態や今後についても連絡調整ができ、概ね達成する事ができました。
- ・サポート体制の整備については、月1回の世話人会議を行って情報交換と連携を図りました。コロナの感染状況により開催できない時には、文書による情報を提供する事ができました。
- ・余暇時間については、個々の生活スタイルに合わせ過ごせる場面を提供できました。
- ・日中活動事業所、職場、相談支援等と連携を図り生活支援を提供しました。

3、達成出来なかったこと

- ・コロナの感染状況により移動支援等を利用した社会参加の機会を設ける事ができませんでした。
- ・余暇活動についても、上記同様コロナの影響があり利用者一人ひとりの生活スタイルに合わせた活動を提供する事ができませんでした。

指定特定・一般・障害児相談支援事業所ぴあん事業報告

1、指定特定相談支援事業

本事業は、障害福祉サービスを利用する方には必要であるサービス等利用計画の作成を主としたものです。令和4年3月31日現在の計画作成者数は約160名で、あゆみ園の利用者に限らず、他法人や他市町在住の障害者支援にも携わっています。また、他事業所では受けられないような困難ケースも対応していることから当事業所の信頼を得ています。ただ、対応件数の増加によりきめの細かいケースワークが難しくなっている現状が続いており、市とも協議をしながら支援の緊急度によって対応しています。

2、指定一般相談支援事業

長期入院者や入所者の地域移行や地域定着の相談支援を主とした本事業は、国の施策も計画的な退所や退院をすすめているためそのニーズは高まっています。

今年度もコロナウイルスの影響により医療機関に第三者が関わることの制限があり、対応件数は2件でした。ただ、統計的にみると長期入院者の退院数は少しずつ増えており、医療従事者による退院支援も増えていることが分かります。まだまだ障害福祉計画でうたわれている目標退院者数には及びませんが、引き続き県内の精神科病院や入所施設との関係を円滑・強化し、希望に応じたサービス提供がスムーズにできるよう体制を整備しています。

3、指定障害児相談支援事業

本事業は、障害児の健やかな発達のために家族や関係機関との連携をもとに、就学や就職などライフステージに合った支援をすすめることができるよう、日々の基本相談を大切に、信頼関係を深めていくことを心掛けています。令和4年3月31日現在の登録児童は約60名ですが、特定相談同様、希望者はできるかぎり受け付けているため、市内外の障害児支援事業所や関係機関からのニーズは高まっています。「サービス利用するため」だけの相談支援ではなく、療育や家族支援の視点も備えた多角的な相談支援をすすめていくことができるよう、今年度は法人内外の事業所と連携をしながら勉強会などの機会をつくってきました。それにより、相互に支援の質を向上することができたと共に、それぞれの事業所の特性を活かした相談支援をすすめることができている。

4、その他

- ・本事業は3名の相談支援専門員が担当しており、市自立支援協議会の運営においても中心的に関わっています。そして、その内2名が、市の中核的存在として相談支援体制の整備や人材育成に携わる主任相談支援専門員の資格を有することから、引き続き市と協力体制を築きながら、市の障害福祉や地域福祉の発展に向けての取り組みをすすめていく必要があります。
- ・栃木市にかぎらず全国的に、サービス利用希望者数に相談支援専門員の担当件数が追いつかないといった課題があります。この課題は、各事業所の経営や運営の考え方に差異があることや、国が予想していた状況と現状に乖離があることなど様々な理由が考えられます。今後は、市とこの課題にどのように向き合い、解決していくのか、具体的かつ現実的な計画をすすめていく必要があります。
- ・相談支援専門員を養成する県の法定研修の運営にも中核となって関わってきました。その他、各種研修に積極的に参加すると共に、行政や関係団体からの講師依頼の業務も多く受けています。

指定放課後等デイサービス事業所かぜのこ・児童発達支援事業所ふわり事業報告

はじめに

かぜのこ・ふわりは、定員10名の多機能型事業所として、平成31年4月から運営を開始しています。本年度は、契約者数は維持できましたが、利用者数は新型コロナウイルス感染症の影響もあって、十分な利用を確保することができませんでした。

また、配置基準上は十分な職員数を確保していましたが、個別療育など質の高いサービス提供を求めてきたことで、利用児へのサービス提供量が増え、職員の負担が重くなることもありました。

1、令和3年度利用実績

(月別契約利用者)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
ふわり	17	17	17	16	16	18	18	18	18	18	18	18	17.4
かぜのこ	18	18	18	18	18	18	18	18	17	17	17	17	17.6
合計	35	35	35	34	34	36	36	36	35	35	35	35	35.0

(月別利用状況) ※かぜのこ、ふわり合計

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
営業日数	21	20	22	22	20	21	21	22	18	20	20	23	250
1日平均利用者数	8.2	7.7	8.0	8.6	8.2	8.1	8.1	8.6	8.8	9.5	6.2	9.0	8.3

(事業実施状況)

事業	実施日	参加人数	事業	実施日	参加人数
お花見会	4月1日 ～5日	7名	ふわり秋祭り①	11月6日	3名
スイカ割り	8月2日 ～4日	その日の利用児	ふわり秋祭り②	11月27日	4名
かぜのこ秋祭り	9月23日	3名	クリスマス会	12月20日 ～24日	その日の利用児
ミニ運動会	10月4日 ～8日	その日の利用児	節分会	2月2日 ～4日	その日の利用児
ハロウィン	10月27日 ～22日	その日の利用児	卒業生を送る会	3月16日、 29日～30日	その日の利用児

就学説明会	6月21日
災害時引き渡し訓練	7月12～16日
歯科指導	10月22日
火災避難訓練	毎月
保護者向け研修会	感染症予防のため中止

2、概ね達成できたもの

- ・コロナの影響により行事やイベントの縮小はありましたが、感染予防を図りながら実施することができました。
- ・風通しの良い施設作りのため、実習生や見学者を積極的に受け入れることができました。
- ・事業所内での会議等に相談支援専門員の参加を依頼し、職員のスキルアップを図りました。
- ・卒業生の最終利用日に「卒業生を送る会」行いました。

3、今後の課題

- ・新型コロナウイルスの感染状況により買い物学習等の社会参加の機会を十分に設けることができませんでした。次年度は、感染状況や感染防止策を検討し実施したいと考えています。
- ・保護者との交流を主な目的として、保護者向けの研修を兼ねた交流会を企画しましたが、感染拡大に伴い実施することができませんでした。保護者のニーズは高いことから、次年度は感染状況を見ながら実施し、保護者との信頼関係構築に繋げていきたいと考えています。

日中一時支援事業所あゆみ事業報告

はじめに

日中一時支援事業あゆみは、ご利用される方々の安全を第一と考えると共に、可能な限りご本人やご家族のニーズに合わせた受入れを行ってまいりました。また利用者一人ひとりの障害特性や利用者間の相性などを考慮した上で、利用スケジュールを調整し、トラブルや怪我の予防にも繋げてまいりました。

緊急的な依頼についても、可能な限り調整・受入れを行ってきたことで、ご家族との信頼関係の構築にも繋げることができているため、今後の利用に繋がるようなサービスを提供していきたいと考えています。

1、利用状況

延利用者数 2, 779人 (前年度比 +205人)

単位：日、人

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
営業日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31
利用者数	251	221	247	260	198	188	233	238	239	227	212	265
1日平均利用者数	8.36	7.12	8.23	8.38	6.38	6.26	7.51	7.93	7.7	7.32	7.57	8.54

2、活動内容と達成できたもの

- ・可能な限り利用者及び家族の要望に沿ったサービス提供を行いました。
- ・感染対策のご協力を了承していただいた上で、施設の見学を行うことができました。
- ・モニタリングや面談等はできませんでしたが、電話による聴き取りをすることで情報共有を図ることができました。
- ・担当者会議に参加することで、保護者や各関係機関との連携、情報共有を図りより良いサービスの提供に努めました。
- ・コロナ禍の為、ボランティアや実習生及びアルバイトの積極的な受け入れができませんでした。
- ・利用者、職員の検温、施設内及び送迎車両の消毒、飛沫防止ボードの設置など感染予防を図り、安心して利用いただけるように環境整備をしました。

3、今後の課題と目標

利用者及びご家族が安心してご利用できるように、引き続き感染対策に努めます。週末の日中一時の要望はあっても、他事業所の感染対策や方針として併用しての利用ができない方もいらっしゃるの、なかなかご利用に繋がれないのが現状です。まずは、あゆみ園利用者のご利用を調整しつつ、新型コロナ感染状況を法人として見極めながら、市内外の方々にもご利用していただけるようにします。利用者及びご家族の要望に応えられるように、情報共有を図ります。